



第39回庭野平和賞

「マイケル・ラプスレー師」に決まる。

公益財団法人庭野平和財団（名誉会長：庭野日鑛、理事長：庭野浩士）は、第39回庭野平和賞を南アフリカ共和国の聖公会司祭（聖使修士会）マイケル・ラプスレー師に贈ることを決定いたしました。

ラプスレー司祭は、1949年、ニュージーランドの敬虔なキリスト教徒の家庭に生まれました。オーストラリア聖公会で司祭に按手、聖使修士会（SSM）に入会。1973年、24歳の時、南アフリカに派遣され、アパルトヘイト撤廃に身を挺しました。ネルソン・マンデラ元大統領やデズモンド・ツツ名誉大主教の盟友でもあります。

ラプスレー司祭は、1990年、小包の中に仕込まれた爆弾で両手と右目を失います。その後、1998年、「記憶の癒し研究所」を設立。以来、自身も痛みや傷を負った治癒者として、南アフリカにとどまらず、国や宗教の違いを超えて、世界の人々の痛みの記憶を希望に変える、癒しのワークショップを開催しています。

なお、贈呈式は6月14日(火)に行われます。

【第39回庭野平和賞】

- 受賞者 マイケル・ラプスレー師 (Father Michael Lapsley, SSM)
- 正賞 賞状
- 副賞 頤彰メダルと賞金2,000万円
- 贈呈式 令和4年6月14日(火)に開催します。開催方法につきましては、決定次第、当財団のウェブサイト等で発表いたします。
- 公式発表 2月21日(月)午後2時からの京都宗教記者会への発表をもって、公式発表とさせていただきます。
- お問い合わせ 公益財団法人庭野平和財団 担当：廣中、工藤、平野
TEL 03-3226-4371/FAX 03-3226-1835
立正佼成会 総務部 渉外グループ：三善、木村
TEL 03-5341-1850/FAX 03-5341-1860